

## 研究科横断 Flex BMD コース（博士前期課程）について

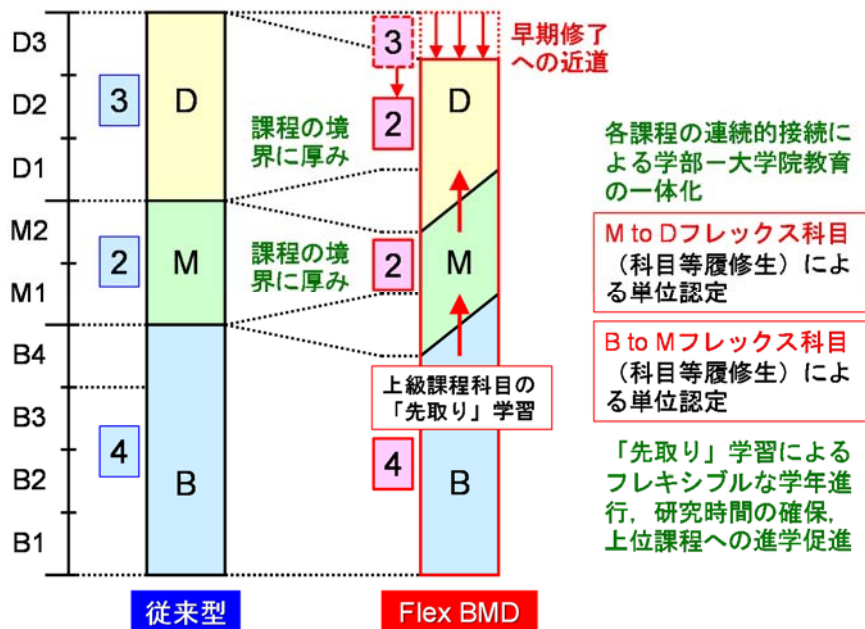
### ■コースの概要

- ・自然科学研究科と環境生命科学研究科では、多様に変化する社会的ニーズに応えうる専門知識と能力を、より早く、より深く、より広く、フレックスに学ぶことができる研究科横断 Flex BMD コースを 2017 年度 10 月から開始しました。
- ・Flex BMD コースが提供する学びの 3 つのフレキシビリティ

#### (1) フレックスな学びの時間

一段上の教育課程（学士課程学生なら博士前期課程，博士前期課程学生なら博士後期課程）で開講されている講義を，課程の枠を超えてフレックスに履修できます。これにより本コースで「先取り」した単位は上級課程進学後に課程修了要件に算入できるため，上級課程への進学後に余裕をもって研究に専念することができます。博士前期課程へ進学する場合，4 年次に「先取り」可能な単位は，卒業研究に支障がないように 6 単位を上限にしています。

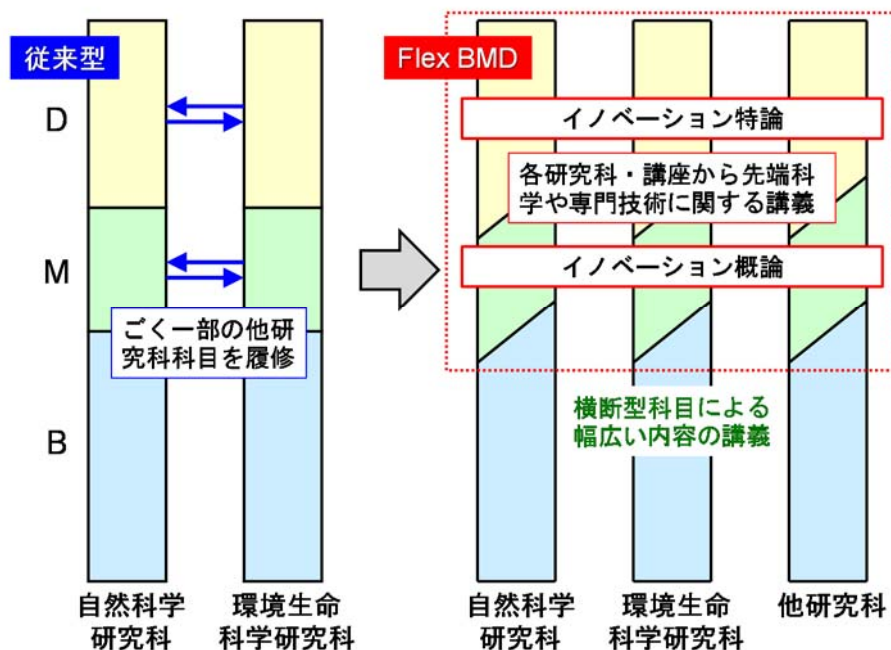
#### (1)フレックスな学びの時間：上級課程の授業を「先取り」



#### (2) フレックスな学びの分野

自分が所属する講座，専攻，研究科の講義を履修し，専門分野の知識を深めることも重要ですが，他分野の先端科学や専門技術に関する講義や Flex BMD コースが提供する分野横断型科目を履修することで視野が広がります。本コースには，現代社会のニーズに即したイノベーション科目，実践型科目，知的財産科目等が設定されています。

## (2)フレックスな学びの分野：分野横断型科目により広がる視野



### (3) フレックスな学びの場所

国際学会における発表や国内外のインターンシップなどの実践的活動をもって、研究科の単位として認定します。「グローバル実践科目」では国際学会における発表や国外における実践的活動について、また「学外実践科目」では国内における実践的活動を単位認定します。

### (3)フレックスな学びの場所：学会発表やインターンシップ<sup>o</sup>を単位化

■ グローバル実践科目：博士前期課程は2単位、博士後期課程は3単位を上限

授業科目名	単位数	対象
グローバル・プレゼンテーションA	1単位	国外開催の国際学会における発表
グローバル・プレゼンテーションB	1単位	国内開催の国際学会における発表
インターナショナル・インターンシップ（短期）	1単位	国外における実践的活動
インターナショナル・インターンシップ（長期）	2単位	国外における実践的活動

■ 学外実践科目：いずれの課程も2単位を上限

授業科目名	単位数	対象
インターンシップ（短期）	1単位	国内における実践的活動
インターンシップ（長期）	2単位	国内における実践的活動
プレゼンテーション	1単位	国内開催の学会における発表

● インターンシップの対象：国内外の大学・研究所等の研究機関、または企業・団体等における実践的活動

- ・本コースは、大学院の各講座で設定した基準をクリアした「選ばれた学生」のみが履修できる特別なコースです。環境生命科学研究科に入学が決定した学生であれば、他大学出身の学生もコース履修が可能です。
- ・大学院科目の「先取り」の他にも、コース生には様々なメリットがあります(別途紹介します)。本学の学生さんも他大学出身の学生さんも、皆さん積極的に手を挙げてください。